



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社シンクロ・フード 上場取引所 東  
 コード番号 3963 URL https://www.synchro-food.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 大久保 俊  
 兼 開発部長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 森田 勝樹 (TEL) 03-5768-9522  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,618	23.8	477	△43.2	423	△48.9	225	△59.4
2025年3月期第3四半期	2,922	10.1	840	10.4	828	8.9	555	7.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 225百万円(△59.4%) 2025年3月期第3四半期 556百万円(7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	8.03	—
2025年3月期第3四半期	20.60	20.59

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,548	4,737	40.7
2025年3月期	6,130	5,326	86.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,705百万円 2025年3月期 5,326百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	41.7	685	△37.6	647	△40.4	418	△36.6	14.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 2社 (社名) ホライズン14株式会社、除外 1社 (社名) 株式会社イデアル
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	29,123,000株	2025年3月期	29,123,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,080,412株	2025年3月期	327,842株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	28,054,818株	2025年3月期3Q	26,969,599株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,618,788千円(前年同期比23.8%増)、営業利益は477,386千円(同43.2%減)、経常利益は423,462千円(同48.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は225,482千円(同59.4%減)となりました。

サービス別の売上高の内訳は、運営サービス2,150,678千円(同4.4%減)、出退店サービス353,657千円(同25.3%減)、その他サービス194,774千円(同1.9%減)、プロパティマネジメントサービス919,677千円(前年同期はありません)であります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

第2四半期連結会計期間において、ホライズン14株式会社及び株式会社イデアルを連結子会社としたことに伴い、新たなセグメントとして「プロパティマネジメント事業」を追加いたしました。上記変更により、当社グループの報告セグメントを、「メディアプラットフォーム事業」、「M&A仲介事業」、「プロパティマネジメント事業」の3区分へ変更しております。

#### (メディアプラットフォーム事業)

当事業は、「飲食店ドットコム」をはじめとした飲食店向けのサービス、及び「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や食材仕入事業者等の関連事業者向けのサービスによって構成されております。

「飲食店ドットコム」においては、出店開業、改装、業態変更等の動きが堅調に推移し、2025年12月末時点における登録ユーザー数が334,143件(前年同期比7.4%増)と順調に増加しております。

また、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や内装事業者等の関連事業者については、5,264社(同3.5%増)と順調に増加しております(注)。一方で、当社の主要サービスである求人広告サービスは、市況影響が拡大しており、掲載型から成功報酬型・従量型へといった商品ニーズの構造的変化も相まって、引き続き減収減益の大きな要因となっております。そのため、営業プロセスの抜本的な見直しにより営業力向上と生産性向上を両立する取組みを継続しており、高い収益基盤の構築を目指してまいります。

以上の結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は2,543,536千円(同4.4%減)、セグメント利益は448,492千円(同39.4%減)となりました。

#### (M&A仲介事業)

当事業は、飲食店の事業譲渡や株式譲渡等のM&A仲介、及び飲食店が設備等を残置したまま退去する居抜き譲渡のサポートサービスによって構成されております。

M&A仲介・居抜き譲渡ともに、売却相談件数は高水準を維持しており、案件化率も向上しております。一方で、第3四半期は、第1四半期と同様に、成約までのリードタイムが長期化したことで、売上高は停滞しております。

以上の結果、M&A仲介事業の売上高は156,533千円(同40.2%減)、セグメント利益は3,545千円(同96.0%減)となりました。

#### (プロパティマネジメント事業)

当事業は、商業用不動産に特化した、サブリース、レンタルサービス、賃貸管理、ビルメンテナンス、売買仲介等のサービスによって構成されております。

第3四半期は、ビルオーナーとのマスターリース契約を順調に積み上げ、主力であるサブリース売上高が順調に伸びました。安定的なストック収益基盤の構築が進展したことに加え、収益性の高い店舗・オフィス仲介サービス等の周辺サービスも順調に推移いたしました。

以上の結果、プロパティマネジメント事業の売上高は919,677千円(前年同期はありません)、セグメント利益は28,535千円(前年同期はありません)となりました。

(注) 2025年12月31日時点において、不動産事業者、内装事業者、食材仕入事業者として登録している事業者数を記載しております。(2025年5月から店舗デザイン.COMと内装建築.comの統合運用を開始したことにより、内装事業者数は増加)

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,275,536千円となり、前連結会計年度末に比べて1,407,677千円減少しました。主な減少要因は、ホライズン14株式会社の株式取得による現金及び預金の減少(前連結会計年度末比1,394,141千円減)であります。固定資産は7,272,852千円となり、前連結会計年度末に比べて6,825,389千円増加しました。主な増加要因は、ホライズン14株式会社の株式取得によるのれんの増加(同5,113,713千円増)であります。以上の結果、総資産は11,548,389千円(同5,417,711千円増)となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,745,291千円となり、前連結会計年度末に比べて972,716千円増加しました。主な増加要因は、契約負債の増加(同356,954千円増)、ホライズン14株式会社の株式取得による1年内返済予定の長期借入金の増加(同571,440千円増)であります。固定負債は5,065,223千円となり、前連結会計年度末に比べて5,033,233千円増加しました。主な増加要因は、ホライズン14株式会社の株式取得による長期借入金の増加(同3,285,700千円増)であります。以上の結果、総負債は6,810,515千円(同6,005,950千円増)となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,737,874千円となり、前連結会計年度末に比べて588,238千円減少しました。主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少(同206,444千円減)、自己株式の取得による自己株式の増加(同415,699千円増)によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2025年11月13日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」より修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,997,759	3,603,617
売掛金	181,151	240,361
棚卸資産	14,910	19,903
前払費用	52,522	325,826
未収還付法人税等	—	27,459
未収消費税等	—	8,835
預け金	430,995	—
その他	16,505	61,709
貸倒引当金	△10,627	△12,177
流動資産合計	5,683,214	4,275,536
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	47,387	70,696
工具、器具及び備品（純額）	12,391	10,380
土地	—	56,852
有形固定資産合計	59,778	137,929
無形固定資産		
のれん	54,715	5,168,429
顧客関連資産	55,185	44,838
ソフトウェア	—	6,241
無形固定資産合計	109,901	5,219,508
投資その他の資産		
投資有価証券	14,952	15,656
出資金	300	355
敷金及び保証金	114,797	1,722,057
繰延税金資産	139,366	147,141
その他	8,367	30,203
投資その他の資産合計	277,783	1,915,414
固定資産合計	447,462	7,272,852
資産合計	6,130,677	11,548,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,256	31,001
1年内返済予定の長期借入金	—	571,440
未払金	61,966	184,574
未払費用	47,640	81,627
未払法人税等	146,687	115,672
未払消費税等	114,758	32,219
契約負債	332,450	689,404
預り金	34,003	39,248
その他	4,811	102
流動負債合計	772,575	1,745,291
固定負債		
長期借入金	—	3,285,700
長期預り保証金	—	1,745,720
資産除去債務	31,989	33,803
固定負債合計	31,989	5,065,223
負債合計	804,564	6,810,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	882,301	882,301
資本剰余金	870,368	871,719
利益剰余金	3,730,220	3,523,775
自己株式	△158,009	△573,709
株主資本合計	5,324,880	4,704,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,232	1,714
その他の包括利益累計額合計	1,232	1,714
新株予約権	—	32,072
純資産合計	5,326,112	4,737,874
負債純資産合計	6,130,677	11,548,389

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,922,501	3,618,788
売上原価	489,590	1,168,697
売上総利益	2,432,911	2,450,090
販売費及び一般管理費	1,592,325	1,972,704
営業利益	840,585	477,386
営業外収益		
受取利息	380	4,792
受取配当金	6	6
受取和解金	1,500	—
受取損害賠償金	—	3,840
その他	55	311
営業外収益合計	1,942	8,949
営業外費用		
支払利息	—	15,476
株式交付費	10,568	—
和解金	3,770	—
自己株式取得費用	—	2,396
融資手数料	—	45,000
営業外費用合計	14,338	62,873
経常利益	828,189	423,462
特別利益		
新株予約権戻入益	86	—
特別利益合計	86	—
税金等調整前四半期純利益	828,275	423,462
法人税、住民税及び事業税	253,422	170,685
法人税等調整額	19,200	27,295
法人税等合計	272,623	197,980
四半期純利益	555,652	225,482
親会社株主に帰属する四半期純利益	555,652	225,482

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	555,652	225,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	469	465
その他の包括利益合計	469	465
四半期包括利益	556,122	225,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556,122	225,948
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月25日 定時株主総会	普通株式	268,042	10	2024年3月31日	2024年6月26日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には設立20周年を記念した記念配当5円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結累計期間の末日となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年6月25日 定時株主総会	普通株式	431,927	15	2025年3月31日	2025年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結累計期間の末日となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

(自己株式の取得及び処分)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式を782,600株取得しております。また、2025年6月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式30,030株の処分を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が415,699千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において自己株式が573,709千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	2,020,701	—	2,020,701	—	2,020,701
マーケティング(注5)	44,667	—	44,667	—	44,667
成功報酬(注6)	177,712	236,707	414,420	△6	414,414
その他(注7)	417,542	25,176	442,718	—	442,718
顧客との契約から生じる収益	2,660,623	261,884	2,922,507	△6	2,922,501
外部顧客への売上高	2,660,623	261,878	2,922,501	—	2,922,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	6	△6	—
計	2,660,623	261,884	2,922,507	△6	2,922,501
セグメント利益	739,899	88,746	828,645	11,940	840,585
その他項目					
減価償却費(注3)	28,193	313	28,507	—	28,507
のれんの償却額(注3)	29,939	1,377	31,317	—	31,317

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&amp;A等における仲介手数料であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入、物品の販売による収入であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	プロパティ マネジメント 事業	計		
売上高						
広告及び関連サービス(注4)	1,917,972	—	—	1,917,972	△300	1,917,672
マーケティング(注5)	28,632	—	—	28,632	—	28,632
成功報酬(注6)	214,790	127,447	65,951	408,189	△660	407,529
プロパティマネジメント収入(注7)	—	—	109,147	109,147	—	109,147
その他(注8)	382,141	29,086	—	411,228	—	411,228
顧客との契約から生じる収益	2,543,536	156,533	175,098	2,875,169	△960	2,874,209
その他の収益(注9)	—	—	744,579	744,579	—	744,579
外部顧客への売上高	2,543,236	155,873	919,677	3,618,788	—	3,618,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	300	660	—	960	△960	—
計	2,543,536	156,533	919,677	3,619,748	△960	3,618,788
セグメント利益	448,492	3,545	28,535	480,573	△3,187	477,386
その他項目						
減価償却費(注3)	17,419	556	989	18,964	—	18,964
のれんの償却額(注3)	9,168	1,377	131,391	141,937	—	141,937

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&amp;A等における仲介手数料であります。

7. プロパティマネジメント収入は、主に賃貸管理収入であります。

8. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入、物品の販売による収入であります。

9. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」の対象になる取引等が含まれております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、ホライズン14株式会社及び株式会社イデアルを連結子会社したことに伴い、新たなセグメントとして「プロパティマネジメント事業」を追加いたしました。上記変更により、当社グループの報告セグメントを、「メディアプラットフォーム事業」、「M&A仲介事業」、「プロパティマネジメント事業」の3区分へ変更しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、「プロパティマネジメント事業」の区分において、ホライズン14株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの発生額は、5,255,651千円であります。なお、当該のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	28,507千円	18,964千円
のれんの償却額	31,317〃	141,937〃

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。